

令和5年度全国学力・学習状況調査結果について

令和5年4月18日と令和5年5月17日に、本校第3学年を対象に実施した全国学力・学習状況調査の調査結果をまとめたものです。

I 調査の趣旨

1. 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査事項

(1) 児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査

(ア) 国語、数学及び英語の3教科について、調査を実施します。

(イ) 出題範囲は、中学校第2学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの教科に関し、以下のとおりとします。

- 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

(ウ) 調査問題では、上記(イ)1と2を一体的に問うこととします。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入するとともに、英語「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式によるものとします。

イ 質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施します。

(2) 学校に対する調査（学校質問紙）

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施します。

II 調査の結果（帯広市立南町中学校）

本調査の結果については、学力の特定の一部であることに留意願います。

今年度の結果

国語	：	全国平均を大きく上回りました。
数学	：	全国平均を大きく上回りました。
英語（「話すこと」に関する調査以外）	：	全国平均を上回りました。
英語（「話すこと」に関する調査）	：	全国平均を大きく上回りました。

Ⅲ 調査結果の特徴

1. 「教科に関する調査」の分析と対策

(1) 国語

【結果】 平均正答率 **全国平均を大きく上回る**

[知識及び技能]	○言葉の特徴や使い方に関する事項	全国平均を大きく上回る
	○情報の扱い方に関する事項	全国平均を大きく上回る
	○我が国の言語文化に関する事項	全国平均を大きく上回る
[思考力、判断力、表現力等]	○話すこと・聞くこと	全国平均を大きく上回る
	○書くこと	全国平均を大きく上回る
	○読むこと	全国平均を大きく上回る

【成果】

○**全国平均を大きく上回った内容**

- ・文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
- ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。
- ・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。

※生徒質問紙より

- ・国語の勉強は好き。 ・国語の勉強は大切。 ・国語の授業の内容はよく分かる。
- ・国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ。
- ・国語の授業で、文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基にとらえている。
- ・全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。

【課題】

※生徒質問紙より

- ・授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う。
- ・自分の考えをわかりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫している。

→**伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする活動や話し合い活動を、感染症対策もあり、継続的な取組としてできなかった。**

【対策】

- ① 朝読書、朝学習の充実（読解力向上の取組）
- ② 授業改善
 - ・授業の中で、課題やねらい、まとめを明確にする。
 - ・授業の終末や単元のまとめにおいて、振り返りの活動をする。振り返りの際は、ねらいを絞り、ポイントを明確にして行う。
 - ・対話的な学習を通して課題を解決させる。
 - ・理解したことや自分の考えを、論理立てて書く指導をおこなう。
 - ・提案や主張など自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする活動をおこなう。
 - ・互いの考えを生かしながら議論や討論をする活動をおこなう。

(2) 数 学

【結 果】 平均正答率 **全国平均を大きく上回る**

[学習指導要領の領域]	○数と式	全国平均を大きく上回る
	○図形	全国平均を大きく上回る
	○関数	全国平均を大きく上回る
	○データの活用	全国平均を上回る
	○知識・技能	全国平均を上回る
[評価の観点]	○思考・判断・表現	全国平均を大きく上回る

【成 果】

○**全国平均を大きく上回った**内容

- ・四分位範囲の意味を理解している。
- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。
- ・条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることができる。
- ・目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる。
- ・結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することができる。
- ・ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができる。

※生徒質問紙より

- ・数学の勉強は好き。 ・数学の授業の内容はよく分かる。
- ・全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。

【課 題】

○**全国平均を下回った**内容

- ・空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解している。
- ・累積度数の意味を理解している。
- ・問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。
- ・事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することができる。

【対 策】

- ① 習熟度別・少人数学習の充実（課題の見られる単元への集中的な指導、補充的な学習の強化）
- ② 朝読書、朝学習の充実（読解力向上の取組）
- ③ 授業改善
 - ・授業の中で、課題やねらい、まとめを明確にする。
 - ・授業の終末や単元のまとめにおいて、振り返りの活動をする。振り返りの際は、ねらいを絞り、ポイントを明確にして行う。
 - ・対話的な学習を通して課題を解決させる。
 - ・普段の生活と学習内容を関連付けた授業を展開する。
 - ・焦点を絞って読み取る方法や、必要な情報を整理する方法を指導する。
 - ・数式や数学用語を使い、道筋を立て、論理的に説明する場面を意図的に設定する。
 - ・学習したことを定期的に確認する時間を授業で設定する。

(3) 英語（「話すこと」に関する調査以外）

【結果】 平均正答率 **全国平均を上回る**

[学習指導要領の領域]	○聞くこと	全国平均を大きく上回る
	○読むこと	全国平均を大きく上回る
	○書くこと	全国平均を上回る
[評価の観点]	○知識・技能	全国平均を上回る
	○思考・判断・表現	全国平均を大きく上回る

【成果】

○**全国平均を大きく上回った**内容

- ・ 日常的话题について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができる。
- ・ 社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができる。
- ・ 「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くことができる。
- ・ 社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができる。
- ・ 「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができる。
- ・ 日常的话题について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができる。
- ・ 文と文との関係を正確に読み取ることができる。
- ・ 日常的话题について、短い文章の概要を捉えることができる。

※生徒質問紙より

- ・ 授業で、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていた。
- ・ 授業で、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていた。
- ・ 授業で、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていた。

【課題】

○**全校平均を大きく下回った**内容

- ・ 疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができる。

○**全国平均を下回った**内容

- ・ 日常的话题について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。
- ・ 社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができる。
- ・ 未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くことができる。

※生徒質問紙より

- ・ 英語の勉強は好き。 ・ 英語の授業の内容はよく分かる。
- ・ 将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う。

【対策】

- ① 朝読書、朝学習の充実（読解力向上の取組）
- ② 授業改善
 - ・ 授業の中で、課題やねらい、まとめを明確にする。
 - ・ 授業の終末や単元のまとめにおいて、振り返りの活動をする。振り返りの際は、ねらいを絞り、ポイントを明確にして行う。
 - ・ 対話的な学習を通して課題を解決させる。

(4) 英語（「話すこと」に関する調査）

【結果】 平均正答率 **全国平均を大きく上回る**

[学習指導要領の領域]	○話すこと〔やり取り〕	全国平均を大きく上回る
	○話すこと〔発表〕	全国平均を上回る
[評価の観点]	○知識・技能	全国平均を上回る
	○思考・判断・表現	全国平均を大きく上回る

【成果】

○**全国平均を大きく上回った**内容

- ・ 日付に関する基本的な表現を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用できる技能を身に付けている。
- ・ 日常的话题に関して聞いたことについて、考えとその理由を述べ合うことができる。

※生徒質問紙より

- ・ 授業で、原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていた。
- ・ 授業で、スピーチやプレゼンテーションなど、まとめた内容を英語で発表する活動が行われていた。
- ・ 授業で、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていた。

【課題】

○**全校平均を大きく下回った**内容

- ・ 疑問文の特徴を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用できる技能を身に付けている。

○**全国平均を下回った**内容

- ・ 未来表現 (be going to) を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用できる技能を身に付けている。

2. 「質問紙調査」の分析

生徒質問紙調査

【よい傾向】

- 先生は、あなたのよいところを認めてくれる。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- 友達関係に満足している。
- 1日当たりの読書時間 • 読書は好き
- 新聞を読む時間
- 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。
- 学級活動における話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。
- 道徳の授業で、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。

→毎日取り組んでいる「朝読書」の効果が多方面に出ています。また、生徒と教師の信頼関係のもと、道徳性を養うための授業や、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら課題を解決するための取り組みができています。

- 授業でのPC・タブレットなどのICT機器の使用頻度
- 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う。

→昨年度、課題であったICT機器の活用について、組織的な授業改善により改善されました。今後も個別最適な学びや協働的な学びの充実のために、活用方法の工夫を進めていきます。

- 各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を授業で行っている。

→生徒自身が学びを実感し、その学びを次の学びへ生かすことができるよう、授業の「振り返り」を計画的に行っています。その効果が結果に表れており、今後も振り返りを通して、学習を自己調整する力を高めていきます。

【課題】

- 毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。
- 学校に行くのは楽しい。
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがよくある。

→望ましい人間関係を構築する力の育成を図る取組の充実や、安全・安心な学校の環境づくりを推進していきます。

- 家で計画を立てて勉強している。
- 1日当たりの勉強時間

→「学習習慣」に関わる項目において課題が見られました。望ましい学習習慣を確立させるには、子どもが自ら学習計画を立てて実行する中で学習意欲を向上させることが大切です。「生徒の好奇心や探究心を引き出す授業」、「自分で考え、仲間と考え、試行錯誤しながら磨きをかけていく過程を大切にする授業」等を通して、改善を図っていきます。

- 今住んでいる地域の行事に参加している。

→生徒が地域に誇りと愛情を持ち、社会の一員として地域活動に積極的に参加する生徒を育成するために、今後も「おびひろ市民学」の実施や、「社会に関かれた教育課程」の実現に向けて取組を継続していきます。

- 授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていると思う。
- 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていると思う。

→「授業改善」に関わる項目に、一部課題が見られました。学習を自己調整する力を高めるため、今後、結果を分析し、改善を図っていきます。